

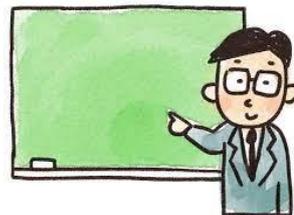
ようこそ！先輩

～市立守山中学校チャレンジウィーク～

「チャレンジウィーク」とは、中学校において5日間程度の職場体験を実施し、働く大人の姿にふれたり、自分の生き方を考えたりする機会とし、自分の進路を選択できる力や将来社会人として自立できる力を育てる取組です。

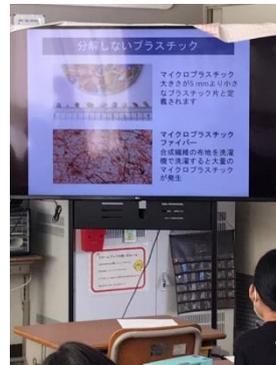
11月24日(木)から30日(水)の間、市立守山中学校の2年生4名が職場体験を行いました。教員体験では、1年生、2年生、3年生で担任の補助を行いました。

5日間、慣れない職場での体験は、もしかしたら人生で初めてという緊張感で取り組んでいた生徒も多かったと思います。普段の家庭生活や学校生活では味わえない体験ができたことは、今後の大きな財産になったことと思います。未来の先生として、再び立入が丘小学校に戻ってきてくれることを願っています。



プラスチックごみ問題を考える「わたしたちにできること」

11月24日(木)、海で問題になっているプラスチックごみ問題についての出前授業が、本校と河西小学校で同時に開催されました。2月にフローティングスクールに出かける5年生は、オンライン中継で海のプラスチックごみ問題の現状を学んだあと、身近な琵琶湖での現状に触れ、自分たちがどのような行動をすることで海洋ごみを減らすことができるかを考えました。



こころアップタイム

小学4年生を対象に「小学生メンタルヘルス予防教育『こころアップタイム』」を実施しています。心の危機を自力で乗り越えられると知ってもらうことを目指しています。

今回は、いやな気持ちは誰でも感じることを、いやな考え方は変えられることを学びました。そのいやな考え方をどのように変えると、気持ちがどのように変わるのかを学び、いろいろな考え方があつたことを体験しました。

